

令和6年度 緑区地域活性化支援事業 交付団体一覧

交付団体数 団体（Ⅰ地域づくり活動支援コース 3団体 Ⅱ区テーマ解決支援コース 1団体 Ⅲ地域拠点支援コース 0団体）

Ⅰ 地域づくり活動支援コース

No	団体名	代表者	活動・事業名	事業の目的	取組内容	実施場所	期待する効果・成果	交付額 (円)	審査コメント	備考
1	NPOネクストステージ	黒石 良市	いつまでも元気！クラブ	高齢者が生きがいを感じられる充実した日々を過ごせるよう支援することを目的とします。高齢者で十分生きがいを感じている人は15%にすぎず、かつ低下傾向が続いています(平成26年度内閣府「高齢者の日常生活に関する意識調査結果」)。高齢者が生きがいを持って元気で前向きに生きることが急速に進展する高齢化社会の諸問題解決に繋がると考えます。元気な高齢者は社会的負担ではなく社会に貢献できる存在にもなります。	高齢者を対象に「いつまでも元気！クラブ」を運営します。高齢期は自分の好きな様にデザインできる人生の新たな舞台、ネクストステージ。体力の衰えなど高齢期の課題を乗り越え、元気、自己実現、挑戦を通じて、生きがいを感じられる豊かなネクストステージの実現を目指します。クラブは学び・動ける体づくり・人との繋がりを3本柱として、まずは元気の実現を目指します。教室ではなくクラブとしたのは参加者が自ら感じ動き、活動を進化させ、自己実現や挑戦につながることを狙っています。	土気あすみが丘プラザ(土気地区及び近隣エリア)	高齢者の元気を実現⇒元気な高齢者による新たな活動⇒能力を活かしたボランティア活動など地域社会の活性化への貢献 元気な高齢者が増えて地域活性化に繋がっている。	100,000	高齢者を対象とした健康づくり活動を評価します。会員数増加に向けた取り組みを期待します。これから活動を続けていくために、今後の方針を団体内で共有し、講師謝礼や会場費、チラシ作成等経費を掛けない方法も検討してください。	【2年目】
2	ふあんブラネット	谷村 夏子	地域・多世代交流コミュニティスペース運営(カフェ、ワークショップ、マルシェ)	私は以前介護の仕事に従事していました。その時に介護保険制度内での対象者との関わりの中でもっとこうしたいああしたいという思いが強く生まれていました。また、要支援者のサービスについて、介護予防・日常生活支援総合事業の一環となった際には、フォーマルサービスだけではなくインフォーマルサービスの選択肢の必要性をとても感じるようになりました。以前はご近所付き合いの中で、あの人の様子がなんとなくいつもと違うなあとということに周囲が気づけることも多くありました。しかし今は個を尊重するがゆえに閉鎖的な環境も多くなり、集団(学校、会社)と家庭の関係性・支援も様変わりしており、独居の高齢者、学校に行きづらい周囲とのコミュニケーションがうまくいかない子供たち、ワンオペで疲弊しているママたちが溢れています。専門機関は増えてはいますが、その前の「気づき」の場として気軽に立ち寄れる、横につながる「場」が必要と強く感じています。希薄になっているご近所付き合いができるような場所…といっても、昭和時代のコミュニティに戻すのではなく、新しいコミュニティの創成です。「やれることをやれる人がやる」場所として、活動内容は都度企画し、カフェ・ワークショップ・駄菓子屋さん風の子どもの居場所、ごはんスペースなど。時には利用する方が活動する場所にもなり得ます。自分にも出来ることがある喜び、少し休んでもいいんだという自分への許容、自分自身が必要とされているという実感を体験として、持ち帰れる場所を目指します。多世代が集まり、交流できる場所を提供し、共に学び、成長し、笑顔を分かち合う場となることを目指す、結果として楽しい場所と感じる=ふあんでらすを作ることが目的です。	地域の中で将来的に核となるような居場所作りをします。 ・幼児連れのママがお散歩途中で立ち寄る。 ・高齢者の方がひまつぶしに立ち寄る。 ・子どもたちが学校終わりに立ち寄る。 このようなかたちをイメージし、多世代コミュニティスペースを定期的で開催します。現在は月に1回おゆみ野でふあんでらすを開催。今後、緑区内でカフェ、ワークショップ、マルシェなどを企画・開催していきたいと考えています。	千葉市緑区おゆみ野みんなの広場など 他、緑区内スペースを探し、開催検討中。	老若男女、横のつながりが当たり前のようになっているモデル地域。いわゆる隣組のような関係性ができ、気づきや支援の手が落ちる方が出ない地域となること	200,000	多世代にわたる交流、居場所づくりは重要です。複数の場所で企画内容を変えて開催することにより、様々な年代の参加が得られることを期待します。円滑な運営ができるよう、共に活動できる運営メンバーを集めてください。	【新規】
3	土気ふる里つむぐ会	三浦 太陽	土気地域の歴史資源に関する情報発信及びプラットフォームの整備	土気地域には歴史資源が豊富であるが、地域住民に広く浸透はしていない状況である。そのため、将来的に歴史資源の維持管理や存続についても危うくなると推測される。貴重な歴史資源を含めてまちの情報発信し、地域住民の興味関心を高め、まち全体の活性化を目指すものである。同時に、歴史資源を通して関係人口・交流人口創出の端緒としていくことも狙いである。	・情報発信の基盤となるHP(プラットフォーム)を整備し、既に稼働しているSNSと連動して幅広く歴史資源について情報発信を実施。 ・フィールドワークを伴うワークショップを実施し、情報発信だけではなくリアルに歴史資源に触れ体験する機会を創出する。 ・緑区ふるさとまつりに出展し、地域の歴史資源や会の活動について訴求する。また、ブースへの来訪者にアンケートを実施し、地域住民の意向や歴史資源の認知度などについてデータベース化を開始する。 ・SNS、HP、フィールドワークを通して開府900年の訴求。	千葉市緑区内(フィールドワーク&ワークショップは土気地域)	・地域住民の生活圏内に多様な歴史資源が多数あることの認知が広がり、地域への理解が深まる。 ・土気地域には豊富な歴史資源があり、かつ千葉県全体として見ても歴史的に非常に重要な地域であったことへの理解が深まり、地域への愛着や誇りがより強くなる。 ・地域住民同士の新たな繋がりが絆が生まれ、次世代へ歴史資源を引き継いでいきたい気持ちが高まる。 ・歴史資源を通して他地域からの人流が活発化し、まち全体が活性化する。	200,000	地域の歴史を研究されてこられた実績を活かし若い世代との交流も深い地域資源の魅力を発信する取組みは意義のあるものです。土気地域の魅力を広く知ってもらい、文化的なにぎわい・活力を創出いただくことを期待します。地域の歴史に関心のあるシニア男性は少なくないと思われるので、サイト構築に向けた情報収集やサイト設計に多くの人が関わられるよう、工夫してください。	【新規】
小計								500,000		

Ⅱ 区テーマ解決支援コース

No	団体名	代表者	活動・事業名	事業の目的	取組内容	実施場所	期待する効果・成果	交付決定額 (円)	事業費の主な内訳(円)	備考
4	ちいロバうたくらぶ	土岐 麗子	ちいロバうたくらぶの親子遊び	「こどもの問題を解決する！！」 声を出し、体にふれ合い、脳を発達させる親子コミュニケーションを増やし、歩くことで小さな気づきを生み、身体と心の発達を促し、食べる、作ることで生きるを学ぶ、積極的な子どもを育む地域づくりを考えます。	うたくらぶは、わらべうた、季節のうた、親子のふれ合い。 料理くらぶ・工作くらぶでは、かんたんお手順や味づくり、「だし」の不思議、健康や身近なもの製作。 ウォーキングくらぶは、里山を歩き、体カづくりと街づくりを学びます。	あすみが丘プラザ、土気近辺、創造の社	地域子ども達が自由な発想で自然や大人と関わること、親以外にも話せる、頼れる大人がいることで、町に目がゆき届き、防犯からみても安心して過ごすことが出来る場所になることを期待します。	200,000	子育てに悩む方の孤立化が問題視されている現状にあって身近に支えとなる場があることは貴重です。活動について発信、広報を積極的に行い、メンバーの拡充や参加を広げることを期待します。継続的に活動するために、経費の見直しや収入の確保について検討してください。	【2年目】
小計								200,000円		

全コース合計

交付額

700,000 円